

腰の負担減 ロボット紹介 あす県博で講演会

「マッスルスーツ」などロボットシステムの開発に取り組む東京理科大学・小林宏教授の講演会が23日午後2時半、県立博物館・美術館講堂である。入場無料。

東京理科大学父母会と卒業生(理窓会)の共催。小林教授は、

着用して腰への負担を軽減するマッスルスーツ型のロボットを開発。医療現場や介護施設での介助・患者移送、物流業界、農



介護の現場で負担軽減のためマッスルスーツを使用する様子(提供写真)

作業などで実績を上げ注目されているという。

講演会では実際にマッスルスーツを着用し、腰への負担軽減を体験できるロールプレイも予定している。理窓会沖縄支部の名嘉正光事務局長は「一般から学生、児童生徒まで幅広い方に、マッスルスーツに関する講演・体験を通し、身近なロボットシステムについて理解、実感してもらえれば」と参加を呼び掛けている。